

ながい 市議会だより



涼を求めて

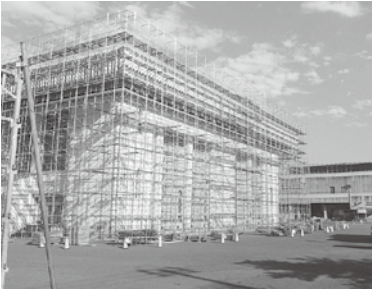


アンブレラスカイ (あやめ公園)

もくじ

6月定例会の焦点	2
一般質問	3
予算特別委員会総括質疑	8
政務活動費	9
人事・9月定例会日程	10





改修工事中の置賜生涯学習プラザ

長井市置賜生涯学習プラザ
総合体育館大規模改修工事(屋根)に伴う請負契約の締結を行うものです。工期は令和6年6月25日から12月20日まで、契約金額は1億6082万円、契約相手は小笠原建設株式会社です。

請負契約の締結

議案

6月定例会

6月定例会を6月3日から24日までの22日間の日程で開催しました。報告10件、一般議案3件、補正予算1件について審議を行い、最終日に追加提案された予算議案1件、人事案件1件の議案を含め、すべて原案どおり可決しました。
なお、一般質問は10名の議員、予算総括質疑は2名の委員が質問に立ち、当局の考えをただしました。

財産の取得

小型除雪車を取得するものです。1.5メートル級小型ロータリー除雪車1台、取得価格3285万円、契約相手は昭和建機株式会社です。



小型ロータリー除雪車のイメージ

家庭的保育事業条例の一部を改正する条例

国の家庭的保育事業等の設

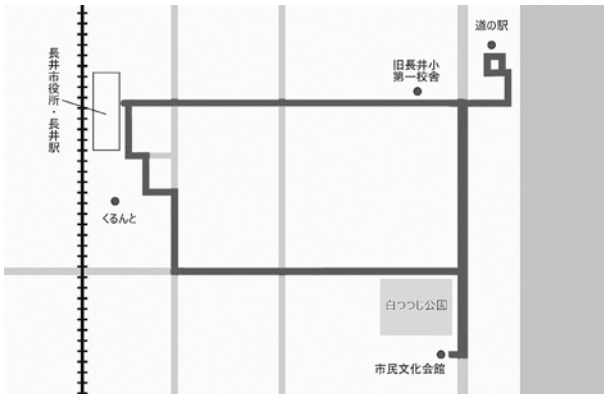
備及び運営に関する基準の改正に伴い、長井市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を一部改正するものです。

補正予算

海外青少年交流事業900万円を含む市制施行70周年記念事業1373万円、健康増進やボランティア活動に参画することで付与されるポイントをデジタル通貨「ながいコイン」に交換できる事業・スマートシティ長井実現事業511万円、コミュニティ助成事業250万円、バイオガス発電設備の実施設計や太陽光発電の導入補助を行うカーボニュートラル推進事業9137万円、畜産所得向上支援事業199万円、企業立地促進事業281万円、中学校部活動指導員配置事業114万円など1億893万円を増額補正するものです。なお、国・県支出金として8700万円の財源を見込んでいます。

主な最終日提案議案

市営バスへ自動運転車両を導入するための実証運行を実施する事業・自動運転社会実装推進事業5000万円。令和6年度は市役所前から市民文化会館、道の駅を回る循環ルートで、12月下旬から1月中旬まで運行を予定しています。



自動運転ルート(案)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業3100万円。令和6年度新たに住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯になった世帯への10万円給付、令和6年度新たに住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯になった世帯に属する18歳以下の児童1人につき5万円給付、定額減税しきれないと見込まれる方に対し、定額減税補足給付金(調整給付)を支給する事業です。
カーボニュートラル推進事業4986万円。長井市給食共同調理場敷地東側に太陽光パネルを設置する事業者に対し、環境省補助事業を活用し補助金を交付する事業です。発電規模は300キロワットを想定し、発電する再エネ(電気)は給食共同調理場に供給します。なお、最終日提案されたこの3つの事業は、全額国の補助を受けて実施します。



一般質問

市政全般について、10名の議員が質問しました



内谷 邦彦

「若い女性に特化した施策」のその後の状況は

弁 女性の雇用を広げる環境を整備

Q: 「人口戦略会議」では、2050年までの30年間で若年女性人口が半数以下となる自治体を「消滅可能性自治体」として発表し、今回は長井市も該当しています。令和3年3月の一般質問で、若い女性に居住地として選んでもらえるような、若い女性に特化した施策の実現を要望しましたが、その後の状況を伺います。

A: 雇用の場を広げる環境づくりへの取組は、徐々に効果が見えてきています。70周年事業を契機としたまちなかの

にぎわい創出によって、女性が力を発揮できる職場がさらに増えることを期待します。



働く女性 (イメージ)

Q: 長井南産業団地への企業誘致については、様々動いていると思いますが、女性が働ける環境が整っている企業の誘致を目標に掲げてはいいかですか。

A: 少子化対策の観点からは、女性に限らず年齢・性別・国籍等に関係なく皆が安心して働ける職場環境づくりができる企業に来ていただくことが理想であり、産業振興連絡協議会でも協議してまいります。



学びを止めないこれからの遠隔・オンライン教育 (文部科学省パンフレットから)

不登校児童生徒への対応について



勝見英一郎

弁 子どもをまん中において丁寧に進める

Q: 本市では、特別教室を含めほとんどの教室に電子黒板が配備され、通信環境も整備されています。現在も教室とオンラインでつながるようですが、「ほっとなるスクール」など、不登校児童生徒の学校以外の居場所にも電子黒板を配備するなどし、遠隔で授業を受けたり、友達と双方向で交流したりすることをさらに進めてはいいかですか。

A: 学校に登校していない児童生徒個々の困り感や諸事情に配慮しつつ、これからもオ

ンライン授業や友人との相互交流にICT機器を活用していきたいと考えます。また、デジタル教科書の使用も視野に入れた「ほっとなるスクール」への電子黒板の整備を前向きに検討してまいります。

Q: 不登校の要因についての文部科学省委託調査や山形大学の先生の調査で、不登校児童生徒及び保護者の認識と、教員の認識に違いがあることが報告されました。特に「教職員との関係」で大きな差がありました。これまで、不登校の主な要因は無気力や不安、生活の乱れなどとされてきましたが、もう一度、子どもの立場で要因を捉え直す必要があるのではないですか。

一般質問



渡部 正之

イベントや式典に通訳者や要約筆記者の配置を

弁 障がいの特性や要望に
答 合わせ検討していく

シオン手段が利用できる環境整備を進めていただきたいと思えます。今後の考えを伺います。

A. 条例制定を機に字幕表示システムや軟骨伝導イヤホンの導入を図りました。今後講演会や手話講座の開催、避難所への防災バンドナやコミュニケーションボードの設置などを進め、障がい者への理解や意識啓発を進めるとともに、関係者からご意見を伺いながら必要な事業を検討します。

Q. 不特定多数の方が参加するイベントや式典などにも、手話通訳者や要約筆記者を配置し、今後一層の情報保障を行っていくべきと考えますが見解を伺います。

A. インクルーシブな共生社会を目指すための第一歩として条例制定を行いました。現在、聴覚に障がいがある方のご要望を受け、手話通訳者の派遣を行っていますが、今後は障がいの特性に合わせ、イベント、式典の趣旨や規模、参加者のご要望に応じて配置を検討していきます。

Q. 3月定例会において「手話言語及び障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の利用促進に関する条例」が制定され、市役所窓口では、軟骨伝導の仕組みを使ったイヤホンが導入され使用できるようになっています。日常的に多くの市民が手話を知ることができ、手話表現に触れることができる仕組みづくりが重要と考えます。今後、手話や要約筆記を知る、学ぶ機会の充実を図るとともに、多様なコミュニケーション



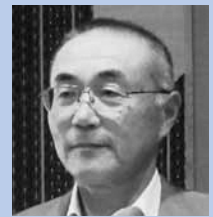
ヤブ化した耕作放棄地



様々な場面でのパソコン要約筆記

集落ぐるみの環境管理
対策に支援を

弁 国や県へさらなる
答 補助事業を求めていく



竹田 陽一

求め、地域ぐるみによる対策を講じてまいります。

Q. イノシシの捕獲数が増え、置賜各市町においては、埋設場所の確保や埋設作業の負担増等が課題となり、数年前、専用焼却施設整備の検討を始め、その後頓挫したと聞きます。捕獲イノシシの適正処理のため、焼却施設をどう整備しますか。

A. 令和3年度に、置賜広域行政事務組合が事務局となり検討委員会が配置され、その後、白鷹町において処理施設整備の意向が示されました。今後も、施設の広域利用などについて協議される予定です。

Q. 教員の働き方改革と、生徒にとって望ましい持続可能な部活動の実現に向けて、昨年度実施した部活動環境整備に関する実証事業は、どのような成果がありましたか。

A. 昨年度の実証事業により、課題の把握が進み、中学生の活動環境が整ってきました。今後も、生徒の成長を支える環境づくりや教員の働き方改革に取り組んでまいります。

Q. ヤブ化した耕作放棄地等は、イノシシなどのすみかとなり被害を増加させています。集落に居住していない土地所有者等の土地は、管理が行き届かない場合が多いため、集落ぐるみの刈り払いが必要となります。集落ぐるみで行う継続的な環境管理対策への支援が必要ではないですか。

A. 国の交付金を活用し、伊佐沢地区や西根地区で、住民主体による鳥獣被害対策に取り組んできました。今後も、国や県にさらなる補助事業を

Q: あやめ公園再整備計画基本構想策定以降の、整備に向けた検討状況はどうですか。また、文化的景観整備活用計画では、令和7年度から宮小桜街区内の構成要素の修繕や、修景整備が行われる予定ですが、あやめ公園は、文化的景観区域の十日町、新町、横町と隣接することから、各街区の道路や家並み等と公園が面として整備されるよう、両計画が一体的な視点で進められるべきと考えますがどうですか。

A: あやめ公園は、公園長寿

弁 答
公園の長寿命化と文化的景観整備を一体的に検討

あやめ公園と周辺街区は一体的視点で整備を



鈴木 一則

命化や令和7年度からの宮小桜街区の面的整備に合わせた一体的な整備を検討していきます。文化的景観整備活用計画に基づき、あやめ公園につながるまち歩きルートの修景や、最上川舟運で育まれた宮の街並みの景観や風情を生かした整備に配慮していきます。

Q: 中学校部活動の地域移行が今年から実施され、思ったより地域クラブを選択した生徒が多いと感じました。地域クラブの選択が進めば、校外活動での保護者負担が増えますが、軽減策はありますか。また、単一校での部活動が成り立たないなど、校内部活動はどのような位置づけとなっていくのですか。

A: 部活動の地域移行による影響を令和6・7年度の移行期間を通じて調査し、地域クラブのあり方や保護者負担等における課題の把握に努めてまいります。なお、本移行により土日に部活動とは違う種目に取り組んだり、学業に専念したりする主体的かつ多様な生徒の姿が見られるようです。



現地調査 (イメージ)



整備が待たれるあやめ公園

Q: 固定資産税の住宅用地特例措置の課税誤りにより、過大課税21件、過小課税32件がありました。市では「市固定資産税等過誤納返還金支払規定」により、過大課税は過去10年間分を還付し、過小課税は令和6年度分から正しく課税するとしています。市民の方にお詫びと返還金等の積算根拠を示すなど、丁寧な説明する必要がありますがどのように対応していますか。

A: 市外の方には郵送でお詫びしました。市内の対象とな

弁 答
担当者間の連携と確認態勢の強化に努める

課税誤りの再発防止対策は



平 進介

った方々については一件ずつ訪問し、お詫びし、このたびの課税誤りの経緯について説明し、ご理解いただいたと認識しています。

Q: 課税誤りの再発防止対策をどのように考えていますか。

A: 地区・期間を定めて計画的なパトロールを実施することや、庁内・関係団体に情報提供の協力を依頼し、現況把握を強化していきます。引き続き入力作業のダブルチェックも行っています。

Q: 市では、下水道使用料等の請求漏れの場合は、遡及して支払いを求めており、中には60回の分割払いもあります。このたびの過小課税については、遡及しないということですが、市民目線では「公平公正性」に欠けると思う方も多いためと思いますがどうですか。

A: 固定資産税は現地の状況を把握し、それを基に賦課決定しますので、こちらの誤りと認識し、今年度から適正な税額で課税することに決定いたしました。

一般質問



浅野 敏明

ウォークアブル推進事業に向けた環境整備は

弁 答 文化的景観区域を中心
に整備を図りたい

で、「人」中心のコースマップに沿った案内サインが必要ではないですか。

A: まち歩きを実施している関係者等と実際に歩いてコースを確認し、ウォークアブル推進事業に合わせ、案内サインについて検討します。

Q: 主要な交差点付近に設置している観光案内標識の文字が見えにくくなっています。早期に更新すべきではないですか。

A: デザインのほか、設置場所や掲載する情報、表記、耐用年数や景観も考慮して効果的な案内ができるよう、関係課等と更新の協議をしていきます。

Q: 人口戦略会議は、若年女性人口が5割以下に減少する「消滅可能性自治体」を発表し、本市も該当しましたが、脱却に向けた今後のまちづくりの考え方を教えてください。

A: 今後も、まちなかウォークアブル推進事業等を活用した魅力的なまちづくりや、優良な宅地供給により暮らしやすさを実感できるまちづくりを進めます。

Q: 今後、ウォークアブルなまちなか歩き観光を進めるうえで

Q: 次期都市再生整備計画では、「車」中心から「人」中心の「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」として、国土交通省所管のウォークアブル推進事業を令和7年度から実施する予定ですが、道路や公園、広場、また、既存建物に係る環境整備の考え方を伺います。



おくやみ窓口



地元 NPO によるまち歩きイベント



鈴木 英則

「おくやみ窓口」を設置し
ワンストップの手続き支援を

弁 答 手続き負担軽減のための
システムを検討

のため、書類作成のシステムを関係課と検討していきます。

Q: 白つじ公園の多目的広場の駐車スペースに白線を引き、もっと効率よく駐車できるようにしてはどうですか。

A: 北側駐車場は、降雨時の水はけが悪く不便を来しています。水はけ改善の整備を行うってはいかがですか。

A: 多目的広場は、イベントやスポーツ等に利用できるよう駐車用の白線は引いていません。北側駐車場や広場内の水はけの悪い箇所は随時補修をしています。今後、公園全体の改修を検討していきます。

Q: 皮膚科等の専門医院が市内から無くなり、特に高齢者は市外や公立置賜総合病院に行かなくてはなりません。長井病院への医師の派遣もありません。市はこの問題にどのような対策をとっていきますか。

A: 公立置賜長井病院への皮膚科医の派遣を要請するとともに、地域医療については、県の医師確保施策に併せ、長井市西置賜郡医師会と連携を図りながら進めてまいります。

Q: 家族の死亡により、遺族は様々な手続きを行わなければならないかもしれませんが、相続は頻繁に起こることではないため、その煩雑さにより大きな負担が生じます。こうした遺族のために、死亡に関する手続きをワンストップで行える「おくやみ窓口」の設置を提案します。

A: 本市の規模では、「おくやみ窓口」の設置は難しいと考えますが、これまで同様、スムーズな手続きを心がけていきます。また、手続き負担軽減

Q: 人口戦略会議が消滅可能性自治体のリストを公表し、長井市もその中に入っています。全国の首長からは、「自然減対策のメインが自治体であるような間違ったイメージだ」また、「20歳から39歳の女性の人口が半減するという一面的な指標で線引きし、一部の地方の問題であるかのように矮小化されてはならない」など苦言が相次いでいます。若い女性からも、「人口減少の責任は私達の責任ではない」との怒りの声も出ています。国

弁 答
多様性を認め、共生社会をつくるのが決め手

消滅可能性自治体リストの受け止めと対策は



今泉 春江

が責任を持ち、少子化対策、子育て支援を積極的に行っていくべきと思いますが、リストの受け止めと対策を伺います。

A: 消滅可能性リストに入っただことは残念ですが、人口減少対策を総合的にまとめた「長井市版総合戦略」を踏まえ実践していくことが重要と考えます。一番は多様性を認め、助け合いながら共生社会をつくっていく、人に対して寛容で優しいまちをつくっていくことが最終的な決め手かと思えます。

Q: 本市での選挙の投票終了時刻が、午後7時までと1時間繰上げになります。国民の参政権行使の保障と投票機会の保障は不可欠で、これなしに選挙権の保障はないと思いますがいかがですか。

A: 期日前投票の要件が緩和され、選挙当日の投票は減少するものと思われれます。投票終了時刻の繰上げは、令和7年の知事選挙から実施予定です。繰上げにより投票率が低下することがないよう、広報、啓発に努めてまいります。



水田活用の直接交付金適用の転作田



消滅可能性自治体

Q: 水田に大豆や牧草、野菜など米以外の作物を長年生産してきた圃場に、5年に一度水張りをししないと、水田活用の直接交付金が適用外とされる条件が国から出されました。水田に米以外の作物を栽培できるような努力を重ねてきた生産者は無情の思いです。「5年水張り」の現状と課題を伺います。

弁 答
生産者の不安を払拭し一丸となって取り組む

地域農業の現状と課題は



梅津 善之

「圃場が均平でないため水を張れない」などの課題が出されましたが、今後も、生産者や生産団体、そして行政が一体となって、課題を解決しながら進めてまいります。

Q: 5月29日に「食料・農業・農村基本法」が改正されました。食料の安定的供給の確保、農業の多面的機能の発揮、農業の持続的な発展やその基盤としての農村の振興などを理念として掲げ、国民生活の安定・向上及び国民経済の健全な発展を目的としています。本市においても、担い手育成と、収益があつて生き生きと農耕できるように、持続可能な農業生産が確立できればと思いますが見解を伺います。

A: 農業の持続的な発展のため、担い手の育成・確保を引き続き図りつつ、農地の集積や集約を進め、農地の効率的な利用が必要であると考えます。現在進めている地域計画の策定を通して地域内連携の醸成を図り、引き続き環境配慮型農業を推進し、課題に対応した農政を進めてまいります。

予算特別委員会

総括質疑

コンポストセンター敷地に建設予定のバイオガス発電設備の概要は

勝見英一朗委員 これから取り組むとするカーボンニュートラル推進事業のうち、環境省の交付金1億6千万円を活用した、事業費3億6千万円のバイオガス発電設備の概要を伺います。

総合政策課長 生ごみを分解したときに発生するメタンガスを利用して発電する施設です。これまでのレインボープランの循環の仕組みに代わるもので、1日2トンの生ごみを処理して25キロワットを発電します。その際生じる液肥は水稻に適していると考え、希望者には無償で提供いたします。

委員 液肥を水田に使用するには、タンクや散布車などが必要になります。農家など、

使用者の負担軽減をどのように考えていますか。

総合政策課長 液肥の貯留槽や散布車などに農水省の交付金(交付率は2分の1)を見込んでいます。関係者の意見をお聞きし、メリットを感じられるものにしていきます。

バイオガス発電設備導入事業について

浅野敏明委員 バイオガス発電設備事業の概要を伺います。

総合政策課長 バイオガス発電設備導入可能性調査結果に基づき、今年度を実施設計、令和7年度から8年度までに建設、9年度から運用開始の計画です。

委員 発電過程で発生する余剰電力と余熱利用の具体的な計画をお聞きます。

総合政策課長 ハウス型園芸施設を設置し、スマート農業の実証実験に活用することも想定しています。

委員 発電の際に発生する液肥を農地に散布する計画ですが、処理を円滑に進めるため、

散布可能な農地を詰めていくべきではないですか。

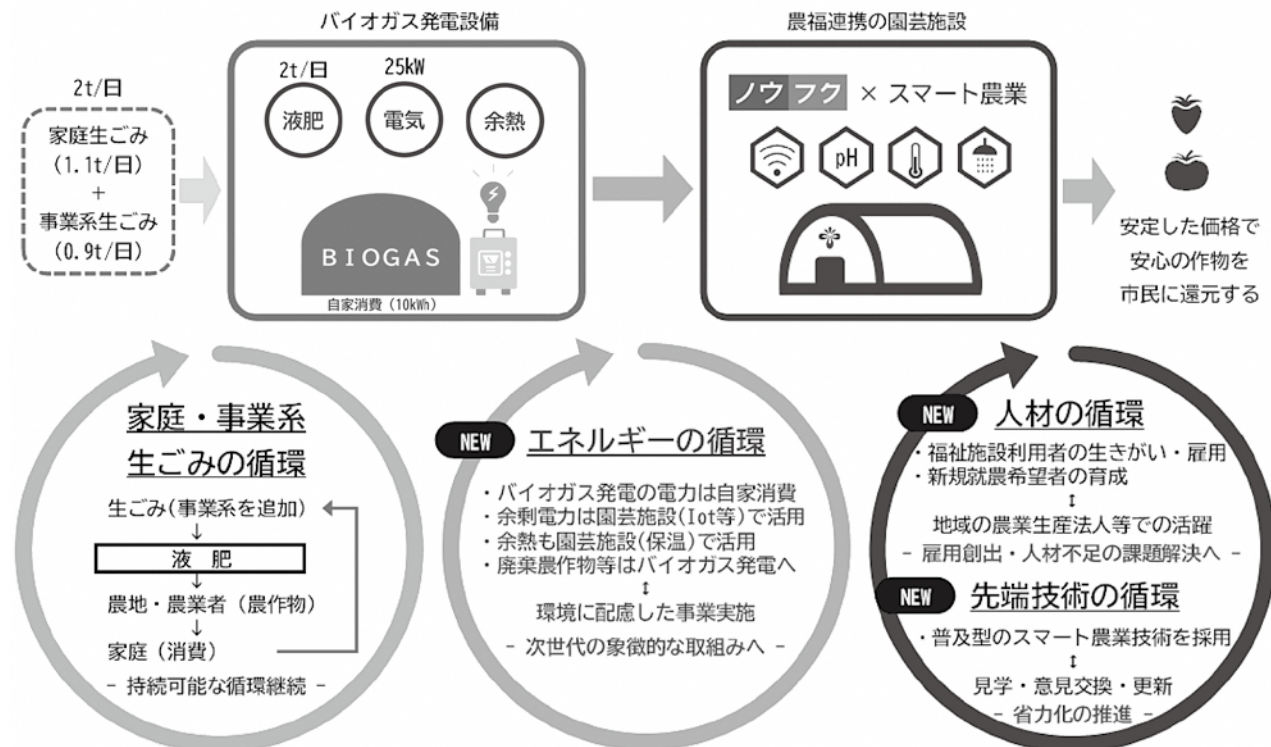
総合政策課長 施設の整備に間に合うように、具体的に散布可能農地を検討します。

委員 設備導入に係る事業費と財源を伺います。

総合政策課長 貯留槽設備を含む全体事業費は4億7千万円で、財源としては、環境省補助1億6千万円と貯留槽整備に係る農林水産省補助5千万円の交付金を見込んでいます。



散布車写真 (東北おひさま発電)



新しい循環のイメージ

政 務 活 動 費

議員の調査研究活動に必要な経費の一部として、地方自治法及び市条例に基づき、政務活動費を交付しています。議員は、収支報告書に収支内訳書や視察報告書、領収書を添付して議長に報告しています。これらの書類については、議会事務局において閲覧や情報公開請求による公開をしていますが、より透明性を高めるために、市議会ホームページでも公開しています。

令和5年度 収支報告総括表

対象期間：令和5年5月～令和6年3月

交付金額：議員1人当たり月額10,000円／残額がある場合は、翌年度の4月30日までに返還

(単位：円)

氏名	項目	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	合計額	返還額
平井 直之				69,828				5,340	52,930		128,098	0
鈴木 英則								50,000	42,700		92,700	17,300
勝見英一郎			30,000						86,700		116,700	0
鈴木 裕				157,724				42,995			200,719	0
鈴木 悟司			33,000					42,000	37,400		112,400	0
鈴木 一則				101,750					30,250		132,000	0
渡部 正之											0	110,000
竹田 陽一								22,106	53,900		76,006	33,994
内谷 邦彦				76,801				51,308			128,109	0
渡部 秀樹				132,420				36,255			168,675	0
浅野 敏明								39,490	99,600		139,090	0
金子 豊美								50,000	86,700		136,700	0
平 進介				123,200							123,200	0
梅津 善之								44,000	98,483		142,483	0
今泉 春江								89,590	45,670		135,260	0
鈴木富美子			25,000					53,933	10,230		89,163	20,837
合計額		0	88,000	661,723	0	0	0	527,017	644,563	0	1,921,303	

※支出項目の説明 (政務活動費を充てることができる経費の範囲)

調査研究費	議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	議員が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広報費	議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	議員が要請、陳情活動を行うために必要な経費
会議費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費

★個人ごとの収支報告書、領収書等は市議会ホームページにて公開しております。



あやめ公園内に設置された
長井北中学校総合文化部制作の大型看板

次回 9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
8月18	19	20	21	22	23	24
	全員協議会		総務	文教	厚生	
常任委員会協議会						
25	26	27	28	29	30	31
	産業・建設 常任委員会協議会	常任委員長会	招集告示			
9月1	2	3	4	5	6	7
	議会運営委員会		本会議(開会) 決算特別委員会			
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	総務	文教	
常任委員会						
15	16	17	18	19	20	21
		厚生	産業・建設	決算	決算	
常任委員会			特別委員会			
22	23	24	25	26	27	28
		決算 特別委員会	予算 特別委員会	予算		
29	30	10月1	2	3	4	5
	本会議 (表決・閉会)					

◎請願の提出期限は、8月14日(水)の予定です。
◎すべての会議を傍聴できます。正式な日程は、市議会のホームページなどでご確認ください。

ながい市議会だより編集特別委員会



◎渡部秀樹 ○渡部正之
平井直之 鈴木悟司
鈴木英則 竹田陽一
(◎委員長 ○副委員長)

人事

固定資産評価員の
選任に同意

菊地 千賀さん
(草岡)

任期は6月24日から

長井市制施行70周年記念事業

■主な70周年記念事業(8月～10月)

- 8月3日(土) ながい水まつり・最上川花火大会
- 8月10日(土) 市民パレード&長井おどり
大パレード、にぎわい創出事業
イベント(長井ミナガフェス)
- 8月10日(土) くるんと1周年記念イベント
- 8月18日(日) スタインウェイピアノコンサート事業
- 10月12日(土) にぎわい創出事業イベント
- 10月13日(日) 長井マラソン2024
- 10月14日(月・祝) 70周年記念式典(市民表彰式)・
祝賀会



みんなで一緒に盛り上げよう!!

長井市議会ホームページ

長井市議会

検索

8月には「ながい水まつり・最上川花火大会」や「市民パレード&長井おどり大パレード」が開催されますので、多くの市民の皆さんにご参加いただき、70周年をお祝いして共に盛り上げていただければと思います。暑い夏になりそうです。皆様ご自愛ください。(S・S)

編集後記

今年には長井市制施行70周年の年ということで様々なイベントが企画されています。「長井あやめまつり」期間中にも市民や観光客の皆様をお迎えして、多彩なイベントが行われました。